

## 促成トマトの黄化葉巻病・黄化病の防除対策

トマト黄化葉巻病は、タバココナジラミが、黄化病はタバココナジラミとオンシツコナジラミが媒介するウイルス病です。ウイルス病は発病してからの治療はできないため、これらコナジラミ類の防除が重要です。

茨城県病害虫防除所の調査によると促成トマトにおいて黄化葉巻病と黄化病の発生が多くなっています。(茨城県病害虫防除所病害虫発生予報 4 月号 ([yr0704.pdf](#))p3,4 参照)。

このため、媒介虫であるコナジラミ類の防除を徹底してウイルス病の発生を防ぎましょう。



写真1 黄化葉巻病の症状



写真2 葉に寄生するタバココナジラミ  
(成虫) と拡大写真



写真3 タバココナジラミ (蛹)

### 防除のポイント

- ① 発病株は伝染源となるため、速やかに抜き取り、適切に処分する。
- ② 媒介虫であるコナジラミ類の施設内への侵入および施設外への飛び出しを防ぐため、**開口部に 0.4mm 目合い以下の防虫ネットを設置する**。施設ビニルや防虫ネットに破損がある場合は必ず補修する。
- ③ **黄色粘着板や黄色粘着テープ**を施設内や周辺部に設置し、コナジラミ類成虫を捕殺する。
- ④ コナジラミ類は多発すると防除が困難となるため、発生が少ないうちに防除を徹底する。
- ⑤ 薬剤散布は、薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。コナジラミ類の薬剤抵抗性の発達を抑えるため、IRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- ⑥ 耐病性品種は、ウイルスに感染しても発病は抑制されるが、感染株は本病の伝染源になるため、コナジラミ類の防除は感受性品種と同様に行う。
- ⑦ 雑草はコナジラミの生息場所となるため、ハウス内外の除草を徹底する。

(令和 7 年 2 月 4 日発表 病害虫速報 No. 12 ([sokuhour6-12.pdf](#)) も参考に願います)

0.4mm以下  
の防虫ネット



表 トマトのコナジラミ類の主な防除薬剤

(令和 7 年 4 月 8 日現在)

| 薬 剤 名      | 希釈倍率          | 使用時期／ 使用回数    | 分類 |
|------------|---------------|---------------|----|
| アニキ乳剤      | 1,000～2,000 倍 | 収穫前日まで／ 3 回以内 | 6  |
| グレーシア乳剤    | 2,000 倍       | 収穫前日まで／ 2 回以内 | 30 |
| コルト顆粒水和剤   | 4,000 倍       | 収穫前日まで／ 3 回以内 | 9B |
| コロマイト乳剤    | 1,500 倍       | 収穫前日まで／ 2 回以内 | 6  |
| スタークル顆粒水溶剤 | 2,000～3,000 倍 | 収穫前日まで／ 2 回以内 | 4A |
| ディアナ SC    | 2,500 倍       | 収穫前日まで／ 2 回以内 | 5  |
| モベントフロアブル  | 2,000 倍       | 収穫前日まで／ 3 回以内 | 23 |

注1) 分類欄には、IRAC コードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

注2) マルハナバチへの影響の目安については、農薬会社にご確認ください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 宮農 NEWS は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。